

【プログラム15：知って得する0歳児の発育・発達】

☆ねらい：0歳児の発育・発達を知ることを通して、育ちの見通しを持ち、子育てに対しての前向きな気持ちや意欲を高める。

《プログラムの概要》

キーワードの例	赤ちゃんの1年
時 間	30分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループから個人（1グループの人数は3～4人）
準備物	ワークシート
主な活動	<p>①0歳児の発育・発達ワークシートを通して考える。</p> <p>②子どもの発達のこと、子育てで気になっていること、知りたいこと等を出し合う。</p> <p>③話題になったことを全体に紹介する。</p>
気を付けること	<p>○ワークシートの例は一般的な傾向であり、発達には個人差があることを知らせ、不安等を与えないように配慮する。特に、乳幼児期は個人差が大きいことを知らせ、不安を和らげるようにする。</p> <p>○子どもの発育・発達のことでの心配なことや不安なことがある場合は、乳幼児健診の時に相談したり、保育園等に相談したりするように話す。</p>
まとめについて	<p>○展開例に示しているポイントは、本プログラムにおける例である。進行役が自身の体験や経験から感じていることを付け加えたり、例示してあるポイントから取捨選択したりして参加者に伝えるようにする。</p> <p>○例示のポイントを押し付けないように心がける。</p> <p>○参加者に分かりやすい言葉で伝えるように心がける。</p>
備 考	<p>○配付資料等で、市町村の相談窓口等を知らせてもよい。</p> <p>○母子健康手帳や「～子育てで困ったときの手引き～子育てをもっと楽しくするために」（熊本県子ども未来課発行）等も参考になることを知らせるとよい。「～子育てで困ったときの手引き～子育てをもっと楽しくするために」は、インターネットでダウンロードできる。</p> <p>○親子の愛着を深めるために、乳児には、絵本等の読み聞かせやわらべうた等も効果的であることを紹介する。</p>

【プログラム15：知ってる得する0歳児の発育・発達】（30分）

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	1. ねらいを確認する。【1分】 〔キーワード〕 ○赤ちゃんの1年
24分	個人 グル ープ 全体	2. 赤ちゃんの1年の発育・発達を知る。【18分】 (1) ワークシートを通して考える。(5分) (2) 子どもの発達のことや子育てで気になっていること、知りたいことなどを出し合う。(13分) 3. グループで話題になったことや感想等を他のグループにも紹介する。【6分】
5分	全体	4. まとめを話す。【5分】 〔ポイント〕 ・乳児期の子どもの発育・発達の段階を知ること、目の前の子どもの成長の変化を知っておくことは、子育てをしていく上で目安となり、子育てに見通しが持てます。 ・乳児期の子どもの発育・発達には個人差が大きく、生まれ月によってもその差はあるので、あまりに心配しすぎると、保護者の心がきつくなることがある。心配なことがある時には、同じ子育て世代の仲間に聞いたり、園の先生方や保健師の方々に相談したりするとよい。 ※母子健康手帳や「～子育てで困ったときの手引き～子育てをもっと楽しくするために」（熊本県子ども未来課発行）等も参考になることを知らせるとよい。 ※参加者の心をほぐし、子育ての意欲や子どもへの愛情を高めるために、絵本の読み聞かせをしたりわらべうたを歌ったりしてもよい。

〔 活動 〕

〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

〔 備考 〕

1. ねらいの
確認

○今日は、「赤ちゃんの1年」をキーワードに講座を進めていきたいと思います。

・キーワードを提示する。

2. 赤ちゃんの1年の
発育・発達を知る

○みなさんは、赤ちゃんの1年をご存知ですか。今日は、まず、ワークシートを使って考えてみたいと思います。

(ワークシートを配付)

○ワークシートに①～⑤は赤ちゃんの様子が記されています。それぞれは、生後何か月の赤ちゃんの特徴だと思いますか。直線で月齢を表していますので、②～⑤までの番号を、線の下に書いてください。

○これらの特徴は、一般的な特徴です。乳児期の子どもの発育・発達の個人差は大きいですので、全ての子どもさんが当てはまるとは限りません。母子手帳からいくつか選んでいますので、詳しくは母子手帳を見てください。

・乳児の発育の特徴を知ることが目的なので、正解不正解や、わが子との比較に重点が行かないように気を付ける。

○いかがでしたか。

ここからは、子どもの発達のことや子育てで気になっていること、知りたいこと等を、グループで、自由に出し合ってください。1つの話題について皆さんが話されてもいいですし、それぞれが気になっていることや知りたいこと等を話されてもいいです。

・時間が限られているので、時間配分に気を付け、全員が1回は話せるように留意する。

3. 感想等の紹介

○まだ話している途中だと思いますが、グループで出された意見や考えられたこと等を紹介してください。

(時間があればグループの意見を多く紹介する。)

○どうでしたか。いろいろな意見を聞いて参考になりましたか。

・悩みや不安、知りたいこと等、誰にでもあることを知らせ、安心感を持たせる。

4. まとめ

○乳児期の子どもの発育・発達を知ることは、目の前の子どもの成長の変化を知っておくことは、子育てをしていく上で目安となり、子育てに見通しが持てます。

○乳児期の子どもの発育・発達には個人差が大きく、生まれ月によってもその差はあるので、あまりに心配しすぎると、保護者の心がきつくなることがあります。心配なことがある時には、同じ子育て世代の仲間に聞いたり、園の先生や保健師の方々に相談したりするとよいでしょう。

※母子健康手帳や「～子育てで困ったときの手引き～子育てをもっと楽しくするために」(熊本県子ども未来課発行)等も参考になることを知らせるとよい。

※参加者の心をほぐし、子育ての意欲や子どもへの愛情を高めるために、絵本の読み聞かせをしたりわらべうたを歌ったりしてもよい。

・相談窓口等の一覧を用意しておき、配付してもよい。また、母子健康手帳にも子育てのヒントや参考資料が記されていることを知らせると、参加者の安心感につながる。

〔知って得する0歳児の発育・発達〕 ワークシート

○子どもの発育・発達段階を考えましょう。

下の②～⑤は、生後何か月頃見られる特徴か考えましょう。

1か月頃

3～4か月頃

6～7か月頃

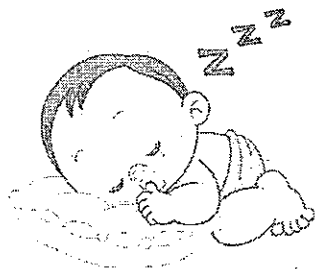
9～10か月頃

1歳頃



①

- ① 裸にすると手足をよく動かすようになる。
- ② 機嫌よくひとり遊びができるようになる。
- ③ 家族といっしょにいるとき、話しかけるような声を出すようになる。
- ④ あやすとよく笑うようになる。
- ⑤ バイバイ、コンニチハなどの身振りをするようになる。



出典：厚生労働省

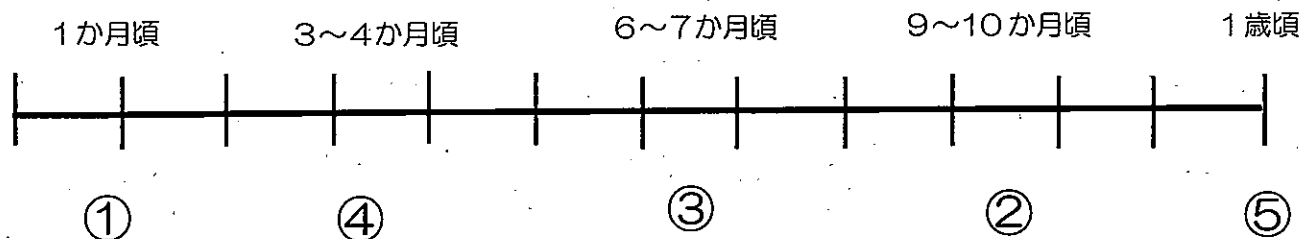
母子健康手帳省令様式より抜粋

〔知って得する0歳児の発育・発達〕 ワークシート

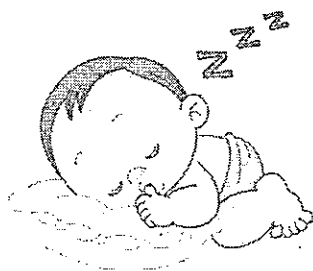
回答

○子どもの発育・発達段階を考えましょう。

下の②～⑤は、生後何か月頃見られる特徴か考えましょう。



- ① 裸にすると手足をよく動かすようになる。(1か月頃)
- ② 機嫌よくひとり遊びができるようになる。(9～10か月頃)
- ③ 家族といっしょにいるとき、話しかけるような声を出すようになる。(6～7か月頃)
- ④ あやすとよく笑うようになる。(3～4か月頃)
- ⑤ バイバイ、コンニチハなどの身振りをするようになる。(1歳頃)



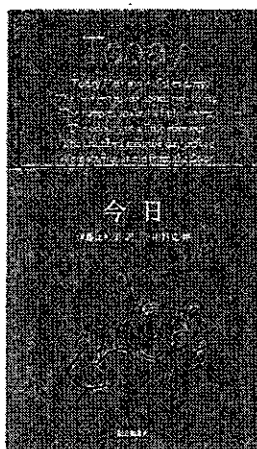
出典：厚生労働省
母子健康手帳省令様式より抜粋

【講座のまとめで紹介したい絵本】



メーカー：ポプラ社
著作者：鈴木 まもる

「わたしは あなたが だいすきです
せかいで いちばん あなたが だいじ
いつでも あなたを まもってあげる」で始まります。
誰かを愛すること、愛されることの素晴らしさを感じることができると思います。子どもも大好きになる絵本だと思います。



メーカー：福音館書店
著作者：不明

全てのお母さんが励まされる詩です。毎日の子育てに追われ、時間や心の余裕がなかなか持てないお母さんもいらっしやると思います。この詩のことはや温かい絵で癒やされ、「子育ては大変だけど喜びもあり、素晴らしい」と実感できる本だと思います。お母さんだけでなく、お父さんにもお薦めです。



メーカー：ひさかたチャイルド
著作者：香山 美子

うさぎさんが作った椅子をめぐって、次々に繰りひろげられる取りかえっこ。見えない相手のことを思う「どうぞ」にこめられた優しさや感謝の気持ちが伝わってくる心が温くなる絵本だと思います。子どもも大好きになる絵本だと思います。親子一緒に読むのもお薦めです。